

「重度障害者のための生活介護事業所」整備に向けた新たな推計

※H29.6「重度障害者のための生活介護事業所整備構想（たたき台）」では、重度障害者のための生活介護事業所について、「令和 7 年で 371 人分」（令和 15 年で 441 人分）が必要と想定していたが、当時の推計と実績に乖離が生じているため、実績値を踏まえた新たな推計を行った。

1 「新たな推計」の結果

◇目標年次を、令和 15 年度（現時点(R5)から 10 年後）とする。

◇推計を算出する各数値は、H28～R4 の平均値を用いる。

◇「市内事業所(公・民)の重度障害者の受入人数」及び「市外事業所の重度障害者の受入人数」を差し引いて、市として整備する必要がある人数を推計する。

◇日中活動系サービスの利用ニーズを、「令和 4 年度箕面市障害福祉に関するアンケート」を用いて、複数パターンで推計する。

パターン A	問 16「障害福祉サービスの利用状況」から、 ・「現在、日中活動系サービスを利用している人」 ・「現在、利用したいができていない人」、と回答した人の割合	29.38%
パターン B	問 24「平日の日中の過ごし方」から、 ・「現在、日中活動系サービスを利用している人」 ・「将来、日中活動サービスを利用したい人」、と回答した人の割合	31.77%

◇推計結果

		H29.6 たたき台	新たな推計(R15)			
			パターンA	たたき台との差	パターンB	たたき台との差
①障害者手帳所持者数		3,187人	3,632人	445人	3,632人	445人
②日中活動系サービス利用者数		1,746人	1,067人	△ 679人	1,154人	△ 592人
③生活介護を利用する重度障害者数		545人	316人	△ 229人	342人	△ 203人
④他の事業所の受入	④-1 市内事業所(公・民)の重度障害者の受入人数	104人	197人	111人 (差し引く)	197人	111人 (差し引く)
	④-2 市外事業所の重度障害者の受入人数	—	18人		18人	
⑤今後整備が必要な生活介護事業所の重度障害者利用枠(③-④)		441人	101人	△ 340人	127人	△ 314人
R15年度の整備必要数		441人	110人～130人の範囲 (※推計値の切り上げ)			

2 「新たな推計」に基づく施設整備手順(目標)

施設名	開園時期(目標)	整備定員数(予定)
中部施設	R 7. 7	新規 60 人
あかつき園再整備	R 8. 12	新規 30 人
東部施設	R10 ※R8 年度にニーズ数を再検証する。	最大 40 人 (20 人～40 人)
合計		110～130 人

※東部施設に求められるニーズ数は 20 人～40 人であるため、整備定員数は最大 40 人を想定。ただし、R8 年度に再検証し、整備定員数を決定する。